

群馬県立前橋高等学校 学校評価一覧表 (令和6年度版)

(別紙様式)

羅針盤			方策	点検・評価	達成度	達成状況のまとめ及び次年度の課題	学校関係者評価
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等	総合	
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ① 自分の学校生活全般について満足している生徒の割合は90%以上である。 ② 「探究基礎」(1年)、「科学探究Ⅰ」「探究総合」(2年)、「科学探究Ⅱ」(3年)の活動を通じて自らテーマをみつけ、解決していく探究力が身についたと感じる生徒が80%以上である。 ③ 「イノベータ講演会」が探究活動の充実や活動意欲の向上に役立っていると感じる生徒が80%以上である。(1年のみ) ④ Oxbridge研修やその報告会およびその他のグローバル教育に関する活動を通じて、グローバル社会での生き方や異文化に対する理解が進んだ生徒が80%以上である。(1・2年のみ) 	<p>学習活動及び部活動・生徒会活動等を充実し、生徒の満足度を高める。 課題設定や実証的な情報収集など、探究活動のスキル指導の充実を図る。</p> <p>4月に外部講師を招いた「イノベータ講演会」を開催し、意欲と質問力の向上を図る。</p> <p>グローバル教育活動に参加した生徒たちの体験を共有させるよう努める。Oxbridge研修を継続し、国際交流や国内・校内等での研修参加を促すよう努め、海外留学・海外進学の機運を醸成する。</p>	A	A	A	学校評価アンケートでは93%の生徒が学校生活に満足している。今後も3兎を追う学校として全人教育に努めていく。また、満足できていない生徒も7%いることも忘れず、どのような部分で満足できていないのかを今後は分析し、改善につなげていく。
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導を行っていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ① 工夫された授業が展開されており、授業に80%以上の生徒が満足している。 ② 英語や数学などの教科で行っている少人数授業や習熟度別授業に90%以上の生徒が満足している。 	<p>ICTの活用やAしの導入など、授業がより充実した双方向的な内容となるよう改善を図る。また、生徒の進路希望や適性に応じたクラス編成や授業展開を行う。</p> <p>クラス分けの方法や時期を工夫する。 小集団の特性に合った授業内容・指導方法で授業を行う。</p>	A	A	A	学校評価アンケートでは93%の生徒が本校の授業に満足している。ICTの使用についても進んできており、毎時間PCを持ち運ぶ先生が増えている。ICTを利用することで、生徒の考えの広がりにつながるよう利用方法を共有していくことが今後の課題。
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ① 生徒自ら考え、発表するなど、主体的な活動を行う生徒が80%以上である。 ② 生徒が主体的に授業に取り組めるよう授業改善のための研修会を各学年や各教科などで年に2回以上実施している。 ③ SSH講演会に参加し、主体的な学習に取り組もうとした生徒が70%以上である。(1・2年のみ) ④ 英語等によるコミュニケーション能力が向上していると感じる生徒が80%以上である。 ⑤ 各教科・科目で「探究的な学び」を取り入れた授業を行い、学習内容がより深く理解できたと感じる生徒が80%以上である。 	<p>発問内容・方法の工夫により学習意欲の向上とともに、協働的な学びを進める。生徒が発表する場面を意識的に増やす。</p> <p>学年及び教科で計画的に研究授業、授業研究を実施する。</p> <p>SSH講演会では魅力のある講演を実施し刺激を与え、積極的に探究活動を進めしていく雰囲気を作り出していく。</p> <p>Aし型授業、外部英語検定(GTEC、英検等)受検、ディベート活動等を推進し、学校全体でコミュニケーション能力を向上させる意識を持つ。</p>	A	B	B	学校評価アンケートでは93%の生徒が本校の授業に満足している。ICTの使用についても進んできており、毎時間PCを持ち運ぶ先生が増えている。ICTを利用することで、生徒の考えの広がりにつながるよう利用方法を共有していくことが今後の課題。
				B	A	A	・生徒の豊かな学びにつながる効果的なICT使い方を模索することも重要であり、その際、生徒の声や意見が貴重な手がかりとなるかもしれない。生徒の意見や感覚を大切にし、それを教育に生かしていく姿勢自体が、生徒の学習意欲の向上につながっているように思う。
				A	A	A	・学びのプロセスを明示的に評価するICE評価や、教科を超えたつながりを経験できるクロスカリキュラムの取り組みは、生徒の学びの質を高めるうえで大きく貢献するものである。ぜひ継続し、さらに推進されることを期待する。
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導を行っていますか。	4 基礎・基本の定着を図る指導が充実していますか。	① 平均家庭学習時間を1・2年で3.0時間、3年で4.5時間以上確保して、予習と復習に努めている。	オリエンテーション等で家庭学習の大切さの理解を徹底させ、授業と家庭学習が一体となった学習活動を展開する。	A	A	A	・確実に文武両道を実践できていると感じる。家庭での学習時間や読書量を増やすことは、難しい課題であるが、今後も引き続き取り組んでいただきたい。いじめの防止や早期発見に向けた取り組みも適切に行われており評価できる。
	5 指導を行っていますか。	① 学年会議・生徒指導部会議・教育相談係会議において、生徒に関する情報交換を月に2回以上行っている。	学年と生徒指導部とが密接に連携し特活部等から情報も共有しながら、生徒の理解を深め、早期の対応を図る。	A	A	A	
		生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	① 遅刻をする生徒が、全校平均で1日あたり10名以下である。また、欠席率は1%以内(3年生は2%以内)である。	A	A	A	
			② 学校全体で、挨拶運動や規律遵守に取り組んでいる。	A	A	A	
	6 生徒が自主的に活動をしていますか。	① 部活動で95%以上の生徒が加入している。また、関東大会以上に出場の部活動5つ以上を目指す。	学年や担任を通して家庭との連携を図りながら、自律的な生活習慣を導いていく。	A	A	A	
		② 部活動が生徒の主体性を生かし、能動的に活動できていると感じている生徒が90%以上である。	学年や特活部と連携し、生徒職員が一体となって、自主的・自律的精神に基づいた活気のある学校作りを行う。	A	A	A	
	7 生徒が自主的に活動をしていますか。	③ 部活動に取り組む生徒のうち、文武両道を実践していると感じている生徒が80%以上である。	文武両道の観点から充実感に満ちた高校生活に導くと共に、部活動への真摯な取組と上位進出を促す。	A	A	A	
		④ 定期戦及び優勝華をはじめとした学校行事の内容の充実を図り、自主的・主体的に取り組めた生徒が80%以上である。	練習計画の作成等に生徒の意見を積極的に取り入れたり、達成感を味わえる場面を設定したりする。	A	A	A	
	8 生徒主体のいじめ防止活動に積極的に取り組んでいますか。	① 本校の「スマホ利用ルール」を理解し、それに従った生活ができる生徒が80%以上である。	学校の部活動運営方針に則した活動により、生徒の学習時間を確保する。	B	B	B	
		② 学校は、いじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていると考えている生徒が90%以上である。	行事等の活動に対して、生徒自身の自主的自律的な活動を促し、存在感や達成感を持つことができる。	A	A	A	
	9 読書指導が行われていますか。	① 学校図書館の貸出冊数が3,500冊を超えていている。	ホームルームや学年集会、講話等の機会を捉え、指導を徹底する。	B	B	B	
			人権教育やいじめ防止への啓発活動に加え、いじめに関するアンケートを各学期に行い、実態把握から対応まで計画的・組織的に行う。	B	B	B	
			国語科をはじめ各教科と協力し、貸出冊数の増加を目指す。図書委員会の活動をより積極的なものとし、企画展やビブリオバトル等を通じて図書館利用を促す。	A	B	B	
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導を行っていますか。	10 計画的な指導を行っていますか。	① 大学・企業・研究所研修、インターンシップ等のキャリア教育行事に満足している生徒が80%以上である。	生徒の進路意識・職業意識を高める進路行事を進路指導部・探究部と学年が連携して計画・立案し、実施する。	A	A	A	・生徒が自動的に将来の目標に向かって、調査・探求する姿がうかがえる。キャリア教育に対する満足度も高く評価できる内容となっている。
	11 生徒は自らの進路希望について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	① 夏季休業中の学習合宿に参加した生徒のうち、学習合宿が進路希望の実現に役立っていると感じている生徒が90%以上である。	前年度までの総括をもとに、学習合宿実施の意義に見合った時期・場所・内容等の検討を行う。	A	A	A	
		② 生徒のより高い進路目標の実現を目指し、生徒の大学合格率が80%以上、大学進学率が70%以上である。	納得のいく進路選択ができるよう適切な情報を提供するとともに、同じ志を持つ生徒同士の相互作用をうまく誘導する。	-	-	-	
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	12 家庭、地域社会に積極的な情報発信をしていますか。	① 「前高Web page」の内容について、満足している保護者が90%以上である。	学校行事等の記事など、新しい情報をタイムリーに発信する。部活動の顧問にWebページの更新を促す。	A	A	A	・保護者や地域と交流も積極的に実施されており、これらの活動を通じて適切に情報交換・情報共有が行われている。自転車事故を減らす取り組みは、生徒と教員が協働して学校全体で熱心に取り組んでおり、ぜひ今後も継続していただきたい。
		② 学校通信や学年通信などによる学校からの情報提供に満足している生徒・保護者が90%以上である。	行事ごとの記録や、各分掌・学年・部活動の情報収集を行い、年間6号の発刊を行う。	A	A	A	
	13 教育力を活用していますか。	① 保護者や地域社会の人を講師とした講演会などを年に2回以上実施している。	P T A・母の会等との連携を密にして、講師の選定を行う。P T A新聞作成に当たり、保護者役員の制作活動や情報収集をサポートする。	A	A	A	・合同HR等、女子高との交流をやってみたらどうか。 ・校内の臭いに関する問題については、今後の検討が必要であると感じる。生徒が快適に過ごせる環境を整えることは非常に重要であり、この課題に生徒と共に取り組む手立てがあれば、主体的な学びの機会となり、有意義である。
	14 生徒の安全意識向上の取り組みを行っていますか。	① 規範意識と危険回避能力を高める指導を行い、自転車事故1件以下を目指して指導する。	交通法規やマナーの徹底に加え、余裕を持った早朝登校や、大通りを利用しての通学など、事故に遭いにくい通学を促す。	A	A	A	・インスタグラムの開設を行うなど、学校からの発信を強化する取組をしていることに感心する。
		② 安心・安全な自転車利用のために、自転車保険の加入やヘルメット着用が必要であると自覚している生徒が90%以上である。	交通安全教室の形態・指導内容等を前橋高校の現状に合ったものになるよう工夫すると共に生徒会役員や風紀委員会を中心自発的活動を促す。	A	A	A	
	15 環境面で生徒の安全が確保されていますか。	① 災害発生時に適切な行動をとることができると自覚している生徒が90%以上である。	毎月安全点検を実施し、施設面の問題の改善に努める。1学年と連携し、洪水災害を想定した避難マニュアルを周知する。年2回の防災避難訓練の実施と、浸水時を含めた避難マニュアルの周知により、災害発生時に職員・生徒が適切な対応をできるようにする。	B	A	B	
VI 学校における生徒の健康・安全に努めていますか。	16 保健面で生徒の健康が確保されていますか。	① 健康面で安心感があると、80%以上の生徒が回答している。	保健委員会活動(保健たり等)により、感染症、熱中症、A E Dの使い方等の健康に関する情報を発信する。	B	A	B	・適切に健康管理が行われているが、さらに生徒が主体的に取り組んでいただきたい。
	17 ICTを活用した指導を行っていますか。	① 授業等でICTを活用した指導を行っている教員が80%以上である。	感染症対策として、手洗い用石鹼等を用意する。	A	A	A	・ICTを用いた授業だけではなく、出欠確認などを含めた日常生活の管理にもデジタル化が積極的に行われている
	18 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	① ICTを活用することで、分掌業務等の改善を進めている教員が80%以上である。	ICTを活用した授業改善に取り組んでいる職員は91%で目標を達成している。	A	A	A	
			ICTの効果的な活用に関する校内研修を行う。				
			各種調査や連絡等でgoogle classroomなどの利用を図る。				
			資料や情報の蓄積をデジタルデータ化する。				
			Googleformを活用した行事への出欠確認や、アンケート回収など、業務改善に取り組んでいる。				